

1. 科目名 (単位数)	日本語教育演習 (2 単位)	3. 科目番号	EIJP3355
2. 授業担当教員	野口 芙美		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教授法Ⅰ」「日本語教授法Ⅱ」「日本語教育の理論と方法」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	日本語を教えるためには、どのような教科書と指導法がよいかを実際に教案を作りながら考える。 1 直接法の授業を実際に体験する。 2 どのように教案を書くのかを学ぶ。 3 授業をしやすい教案とは何かをクラスで考える。 4 学習者主体の授業とは何かを確認しながら教案を作成し、模擬授業を行う。 *各自の教案をクラスで考え、それぞれの良い点・悪い点を意見交換する。		
8. 学習目標	授業に対する教案の作成ができる。 模擬授業を体験しながら「日本語指導」における大切なことがわかる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. 第4～7回は、授業後、授業で扱った指導項目を1つ選び導入・練習の教案を作成する。 2. 第8回からは、模擬授業担当者は教案を作成し模擬授業を行う。 3. 最終課題として、初級文型項目の中から授業で扱っていない指導項目を一つ選び、導入・練習・活動を盛り込んだ教案を作成し提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】各講義で資料を配布する。 【参考書】石橋玲子著『外国語としての日本語とその教授法—言語への気づきを重視して—』、風間書房、2018 高見沢孟 監修『新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識』アスク出版、2016 高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2 日本語教授法入門』アスク出版、2016 寺田和子他著『日本語の教え方ABC』アルク、1998		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業に対する教案の作成ができるようになったか。 2. 模擬授業を体験しながら「日本語指導」における大切なことがわかるようになったか。 ○評定の方法 1 授業への積極的参加・授業態度 30% 2 課題・レポート 30% 4 期末試験 (模擬授業) 40%		
12. 受講生へのメッセージ	日本語教育に関する知見を生かし、実際に模擬授業を行う。指導項目に関して注意すべきポイントを学び、わかりやすい導入、実際の生活ですぐに使えるための実践的な活動について検討していく。実際に模擬授業を行うことで、教える順序や内容だけでなく、ティーチャートークや学習者の発話・授業参加の促し方などにも意識を向けてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、直接法と間接法	事前学習	これまでの自分の外国語学習経験等から、直接法と間接法の長所・短所をそれぞれ考えてくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第2回	学習者主体の授業とは	事前学習	学習者主体の授業とはどんな授業か考えてくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第3回	初級文型、初級教科書	事前学習	事前配布資料に目を通しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第4回	教案の作り方、指示詞の指導	事前学習	指示詞について復習しておく。
		事後学習	教案「指示詞」を作成する。
第5回	形容詞の指導、授受表現の指導	事前学習	形容詞、授受表現について復習しておく。
		事後学習	教案「形容詞」または「授受表現」を作成する。
第6回	て形の指導、自動詞・他動詞の指導	事前学習	て形、自動詞・他動詞について復習しておく。
		事後学習	教案「て形」または「自動詞・他動詞」を作成する。
第7回	条件表現の指導、受身表現の指導	事前学習	条件表現、受身表現について復習しておく。
		事後学習	教案「条件表現」または「受身表現」を作成する。
第8回	模擬授業①指示詞	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第9回	模擬授業②形容詞	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第10回	模擬授業③授受表現	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を

			作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第11回	模擬授業④て形	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第12回	模擬授業⑤自動詞・他動詞	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第13回	模擬授業⑥条件表現	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	模擬授業⑦受身表現	事前学習	模擬授業担当者は模擬授業に向けて教案を作成し、授業の準備・練習をしておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第15回	これまでの内容の振り返り、最終課題の準備	事前学習	これまでの授業を振り返り、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	授業内容を復習し、最終課題の準備・提出をする。